

ゆりかご だより



平成 30 年 11 月発行 No.21

朝晩冷え込むようになってきました。季節の変わり目、体調を崩すお子さんも多く、10月の病児保育室ゆりかごでは、急な発熱のお子さんのご利用が目立ち、当日予約での入室も増えました。インフルエンザの予防接種も始まりました。こまめに手を洗う習慣を身につけ、十分な睡眠と栄養バランスの良い食事を心がけ、冬に流行する感染症に備えましょう。今月は午後の1コマと、保育終了後に感染予防の対策として行っている清掃・消毒等の様子をご紹介します。

おやつはみんなのお楽しみ



調子の悪い時も、好きなお菓子や食べやすい果物・ゼリーなどで食が進むことが多いです。

「くしゃくしゃおもしろいね」



お花紙を丸めてビニール袋に入れ、目をつけたら魚の出来上がり。嬉しそうに持って帰りました。



お迎え



1日の様子を、報告書を見ながらお伝えします。〇〇くん、今日は熱も上がりず、楽しく遊んで過ごせました。

隅々まできれいに



テーブルや椅子、ドアや壁、マット・床・パーテーションなど、翌日のご利用に備えてすべて拭きます。



15:00

おやつ

16:00

遊び・製作など

17:00

18:00

保育終了

19:00

熱の高い〇〇くん



おやつ後もベッドで横になり、頭を冷やしながら好きな迷路の本を楽しみました。

「いらっしゃいませ～」



ままごとのおもちゃで、どんどんイメージを膨らませて遊んでいた〇〇ちゃん。回転すし屋さんごっこが始まりました。

清掃・消毒はすべて



拭いた所をお子さんが触っても、安心な消毒薬を使っています。

使ったおもちゃや絵本は



おもちゃはひとつずつ、絵本は1ページずつ拭いています。布製のものや、小さいものは洗います。

看護師より

インフルエンザかな？と思ったら

この季節、急な高熱が出たらインフルエンザを心配すると思います。インフルエンザの診断には鼻から粘液を採取し、ウイルスを検出するキットを使います。だいたい15分以内に結果が出ます。ただし、発熱後すぐに検査するとまだウイルスの増殖数が少ないため、インフルエンザにかかっていたとしても陰性となることがあります。38℃以上の熱が出て12～24時間以上経過してから検査すると信頼性が高い結果となります。しかし、発熱後48時間以上経ってから検査してインフルエンザがわかったとしても、抗インフルエンザ薬の効果は期待できません。これはウイルスを殺すわけではなく増殖を抑えるお薬であるため、48時間以上経過するとウイルスが増殖しきっており、お薬の効果はないとされています。検査を受けるには遅すぎても早すぎてもダメなので、受診のタイミングに注意してください。



堺市訪問型病児保育センター

サポート会員が利用会員の自宅等を訪問し、病気などのお子さんを保育します。

病児保育施設への送迎も行います。

詳しくはHPをご覧ください。

<http://yurikagonetwork.com/houmon>



病児保育室ゆりかご

事前登録は随時受け付けています。お電話にてお問合せ下さい。詳しい内容や書類のダウンロードはHPをご覧ください。

<http://yurikagonetwork.com/hoikushitsu/>

〒599-8247 堺市中区東山 1042-1

電話/FAX: 072-234-6880



見学会があります
11月11日(日)
9:30~12:00

12月の登録説明会
9日(日) 10:30